

2024 年度 第 2 回 高大連携に向けた懇談会（ご報告）

1. 趣旨

高等学校での教育の現況や高校生の進路研究・選択について懇談を通じて意見を伺い、本学の教育内容の検討に役立てる。また、2024 年度は懇談の前に授業見学の機会を設け、本学の雰囲気を実感していただき、広くご意見を伺う機会とする。

2. 開催日時

2024 年 12 月 10 日（火）13：30-16：30（対面開催）

3. 出席者 2 名

参加高校 2 校

私立高校 1 校（千葉県）、県立高校 1 校（埼玉県）

本学側出席者（4 名）

山田学長、小松副学長、佐藤歯科衛生学科長、平田准教授（司会進行）

4. 授業見学および主な懇談内容

（1）授業見学

ビジネス社会学科「秘書実務」

歯科衛生学科「歯科診療補助実習」

製菓学科「製菓学セミナーⅡ（マジパン）」「基礎実習Ⅲ（製パン）」

（2）懇談内容

- ・授業見学の感想と在学生の雰囲気
- ・進路指導の視点からみる「短大進学」
- ・高等学校の現状
- ・その他

5. 実施総評

2024 年度第 2 回目の本懇談会は、第 1 回と同様に本学への理解を深めていただきたいという目的から、通常の授業を公開して見学いただいた後に懇談を行った。

短期大学が全国的に閉学や改組転換している中、短大の存在が薄れ、高校教員や保護者に認知されなくなっていることから、高校生や保護者の進路選択や高校の先生方の進路指導にとってどのような位置づけにあるのかを改めて知ることができた。

高校では「総合的な探求の時間」を活用した取り組みがより一層進み、学外のさまざまな機関での学習が活発になっている。高校での学びが進路選択に大きく関わっているだけでなく、友人関係や家族の状況、関係等も大きく影響していることが窺えた。

以 上